

古座川の一枚岩

古座川の一枚岩は古座川岸にある巨岩です。その幅は 500m 以上で高さは 100m です。この岩は 1400 万年前に、マグマが巨大な地下の空間に溜まった際に形成されました。圧力がかかって地面にヒビが入り、そこからマグマやその他の火山性物質が出てきて、大きなカルデラを形成しました。マグマが冷却されて固まり、火山性物質が侵食することで延長 20km にわたる古座川弧状岩脈が形成されました。一枚岩はその巨大な指輪の石の最も保存状態の良い部分です。それはいまだに地球によって上方向に押されているので、背が高くなり続けています。一枚岩は非常に滑らかですが、その一方で、近くにある他の岩の多くは、同じ地殻変動の間に形成されたものの、酷く侵食されていて蜂の巣状になっています。地元の言い伝えによると、一枚岩は一匹の犬によって守られていて、その犬はかつて他の岩を食べていた魔物を追い払いました。毎年 4 月と 8 月の日没の数分前に見ることができるのは、岩の側面に落ちる、犬に似た影です。年間を通じて岩のヒビから花が咲きます。その中には日本の珍しいホトトギスやコケの古代種もあります。